



平成26年9月4日

各 位

会 社 名 日本カーボン株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊東 郁夫
(コード：5302 東証第1部)
問合せ先 業務管理部長 今井 浩二
(TEL. 03-3552-6111)

子会社 NGS アドバンストファイバーの生産能力増強に関するお知らせ

このたび当社、GE社、およびサフラン社の3社合弁により設立したNGSアドバンストファイバー株式会社は、炭化けい素連続繊維の生産能力増強のため、別紙の通り新工場の建設を決定したことをお知らせいたします。

この炭化けい素連続繊維は、すでにGE社およびサフラン社が共同開発する中型機向け次世代航空機エンジンの主要な部材として採用が決定しております。

また中長期的にも、世界の航空機エンジン市場を中心にさらなる需要拡大が見込まれており、今後も積極的な設備投資により生産体制の整備を図ってまいります。

以 上

各位

2014年9月4日発信

炭化ケイ素連続繊維の生産能力を大幅増強

－ 航空機エンジン部材向けの需要拡大に対応 －

このたび日本カーボン株式会社、GE社（本社：アメリカ）、およびサフラン社（本社：フランス）の、3社合弁により設立した NGS アドバンストファイバー株式会社（本社：富山県）は、炭化ケイ素連続繊維の生産能力増強のため、新工場の建設を決定いたしました。

具体的には、NGS アドバンストファイバーの既設工場隣接地に新たに第二工場を建設するもので、最新の製造技術の導入により、原材料から紡糸、不融化(電子線照射)、焼成に至る一連の製造ラインを増設いたします。特に高機能グレード製品である、「ハイニカロン®」「ハイニカロン®タイプS」の生産能力を現状の10倍に拡大いたします。

この炭化ケイ素連続繊維は、千数百度の高温大気中においても耐熱性、耐酸化性に優れた繊維です。NGS アドバンストファイバーは同繊維を、GE社(50%出資)とサフラン社(50%出資)による合弁会社である CFM インターナショナル社が開発しているベストセラーの LEAP ジェットエンジン用のセラミック・マトリックス複合材(CMC)部品に供給しています。LEAP エンジンは、高圧タービンの部品に同繊維を使用した CMC を適用しており、高熱部に CMC 部品を使用する世界で初めての民間航空機エンジンとなります。

今後中長期的には、世界の航空機エンジン市場を中心に更なる需要拡大が見込まれており、今後も積極的な設備投資により世界最大規模の生産体制の構築を目指してまいります。

■会社概要

社名：NGS アドバンストファイバー株式会社

設立：2012年4月

所在地：富山県富山市高内1-1

資本金：11.5億円

株主：日本カーボン（50%）、GE社（25%）、サフラン社（25%）

代表取締役：奥澤 明

従業員：25名

■新工場概要

所在地：富山県富山市高内1-1

操業開始：2017年予定

主要導入設備：電子線照射装置・焼成設備等

生産能力：10t/年

<本件に関するお問い合わせ>

NGS アドバンストファイバー株式会社 管理部長 石本 渉

TEL：076-467-0178 FAX：076-467-0528 E-mail：w-ishimoto@ngs-advanced-fibers.com